

福祉たすけあい基金BOOK

第21期助成団体紹介



目次

福祉たすけあい基金とは	1～3
選考講評（第21期）	4

【第21期福祉たすけあい基金（スタート助成）助成団体】

どたばた子育て応援隊	5
特定非営利活動法人居場所 そら	5
一般社団法人ヨコハマ・インクルボッチャ・ラボ	6
一般社団法人リトルハブホーム	6
赤ちゃん食堂「ままな」	7
特定非営利活動法人 ふじぼけ	7
ザリガニ食堂の会	8
一般社団法人あそびの庭	8
ニコニコにじの会	9
NPO 法人ぴあっと	9
one by ONE	10
NPO 法人ハビリテーションケア	10
テラコヤスペース	11
まちライブラリー@池子	11
わわわのわ	12
居場所づくり濱なかま	12
一般社団法人かけはし	13

公益財団法人 かながわ生き生き市民基金は・・・

◆成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合（1971年創立）は、90年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関は無いため、自前の財源による市民バンク（「女性・市民コミュニティバンク」の前身）をつくり、1998年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は2003年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいにかかわる市民の福祉活動・非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の10年間の助成活動の実践を経て、2013年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団法人かながわ生き生き市民基金」を設立しました。

◆ミッション

<投資して利潤を稼ぐことが経済>という考えが現代社会に蔓延しています。つまるところ、人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。しかし一方で、豊かな生活をつくるのが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、子どもや障がいを持つ人が生きにくい社会になっています。

かながわ生き生き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆基金の事業・活動

かながわ生き生き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を通じた市民活動・事業への支援です。現在3つの助成プログラムを行っています。

福祉たすけあい基金（2015年度から通常型助成とスタート助成を実施）は、意思ある生活クラブ組合員1万1千人の月100円寄付を基本財源とした助成プログラムです。オーダーメイドプログラムは寄付拠出者が助成プログラムを指定します。

助成事業以外には、講座事業、ネットワーク事業などを行っています。

福祉たすけあい基金とは

福祉たすけあい基金はこれからの地域社会をつくっていくために、市民自らが福祉活動の主体となっていくこと、そしてその基盤となる市民同士がたすけあう関係を育て、地域を豊かにしていくことをめざして生み出しました。かながわ生き生き市民基金の助成事業の一つに留まらず、かながわ生き生き市民基金を支える基金です。福祉は人々の生活そのものと言ってもよく、福祉たすけあい基金では高齢者、子ども、女性、外国人、障がい者など様々な弱い立場の人々を支援する活動に助成しています。


福祉たすけあい基金の特徴 ～ 1万人1千人に支持される基金～

福祉たすけあい基金は市民一人ひとりから毎月（毎年）寄付を集め、おおぜいの力でまとまった額の基金を創りだしているのが特徴です。98%以上にあたる寄付が生活クラブ組合員約1万人1千人の毎月100円の寄付で寄せられています。これだけおおぜいの寄付者が趣旨に共感し、継続的に基金を支えていることは福祉たすけあい基金の最大の強みです。今後も顔の見える支持者をさらに広げつつ、基金のミッションを伝え地域に広げていかなければならないと考えています。

福祉たすけあい基金の助成事業

毎年2回助成を行います。1申請上限100万円の助成（通常型）と、比較的小さなアソシエーション等の活動の立ち上げや、活動初期の基盤づくりを応援する「スタート助成」をそれぞれ1回ずつ行っています。福祉たすけあい基金にはこれまで341団体から約1億4,750万円の申請があり、地域で福祉たすけあいの市民活動を行う232団体へ約7,260万円を助成しました。

第9期からは「スタート助成」を既存団体の新規事業立ち上げにも広げ、これによって既に地域で活動実績を持つ団体が、これまでの実践を通して見えてきた新たな地域課題の解決にも活用が広がっています。

福祉たすけあい基金 助成事業	福祉たすけあい基金 ～通常型～ 	福祉たすけあい基金 ～スタート助成～ 
助成総額	400万円	500万円
1件当たり上限	100万円	40万円

第1期～21期までの申請・助成実績

赤字部分はスタート助成

助成時期		助成団体数	助成金額（円）	申請団体数	申請金額（約万円）
第1期	2014年4月助成	9	4,514,100	34	2400
第2期	2015年2月助成	12	3,944,950	17	700
第3期	2015年5月助成	11	3,822,000	20	1084
第4期	2015年8月助成	13	3,389,131	20	1000
第5期	2016年3月助成	6	1,667,633	12	390
第6期	2016年8月助成	7	3,245,769	18	640
第7期	2017年3月助成	10	2,493,230	16	490
第8期	2017年8月助成	13	4,000,000	20	1000
第9期	2018年3月助成	16	4,346,100	24	740
第10期	2018年8月助成	11	3,560,382	19	859
第11期	2019年3月助成	14	4,440,364	15	508
第12期	2019年8月助成	11	3,941,072	13	611
第13期	2020年3月助成	12	3,266,759	13	393
第14期	2020年11月助成	8	3,275,903	10	544
第15期	2021年3月助成	16	5,000,000	17	581
第16期	2021年8月助成	11	3,996,881	11	461
第17期	2022年3月助成	18	4,998,871	21	716
第18期	2022年9月助成	17	4,000,000	21	999
第19期	2023年3月助成	19	4,700,000	20	642
第20期	2023年9月助成	15	4,000,000	15	523
第21期	2024年3月助成	19	4,292,000	21	599
合計		268	80,895,145	377	15,836



申請事業活動の特徴

第1期から第21期までのべ268団体に助成を行ってきた中で、子ども食堂や学習支援など、子ども・若者の貧困に関する活動を行っている団体や、高齢者福祉に関する活動団体が目立っています。また、障がいへの認知を広げる活動や障がいを持つ方の社会参加を支援する活動、ひきこもりのピアサポート活動からの申請もあり、人々に寄り添いたすけあいを進める幅広い活動に申請が広がっています。



市民活動の先駆性・有効性・持続性・参加性、そして社会を変える意気込みに期待

選考に当たっては、事業・活動の先駆性や有効性、持続性と共に、広く地域の人々や団体と連携し、時間・知恵・労力・お金などを拠出し合い、市民が主体となり地域の課題を解決する参加性が重視されます。また市民事業・活動を生み出し、育成し、事業拡大するだけでなく、市民の実践を根拠にアドボカシー活動を行い、社会を変えていく志が広がることが期待されています。

選考委員（敬称略）

- | | | |
|-----|--------|-----------------------------|
| 委員長 | 手塚 明美 | 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 理事長 |
| | 田中 夏子 | イタリア協同組合研究者/ 農業者 |
| | 川岸 卓哉 | 弁護士/（特非）原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長 |
| | 友澤 ゆみこ | （特非）ピッピ・親子サポートネット 理事長 |
| | 高村 文子 | 三浦市民交流センター ニナイテ センター長 |
| | 伊藤 保子 | 元（特非）さくらんぼ理事長 |
| | 齊藤 輝美 | さがみ生活クラブ生協理事 |
| | 戸田 美智子 | かながわ生き生き市民基金理事・生活クラブ神奈川副理事長 |





福祉たすけあい基金 選考講評

選考委員長 手塚 明美
(一社)ソーシャルコーディネートかながわ理事長
(公財)かながわ生き生き市民基金理事

第 21 期のスタート助成は、申請 21 件、申請金額 670 万円となりました。3 回目まで申請が可能のため、新規申請団体による新たな課題解決に取り組む新規事業の立ち上げだけではなく、2 回目、3 回目の申請を受け付けています。今回は新規申請の割合が多く、今後複数回の申請も視野に入れた選考委員間の意見調整に時間をかけました。社会の状況として、価値観の多様化は勿論のこと地域差、行政区による対応差なども意見交換させていただきました。できる限り申請にはお応えできるように議論を進め、捉えている課題やニーズに力の限り対応しようとしている申請組織の持続可能性やリスクヘッジのあり方なども話題に上り、組織の安全性も考えることとなりました。採択結果は公開資料の通りとなり、ご希望に沿えない結果も出てきています。課題解決に向かう、市民活動の息吹は回を重ねるごとに確実に感じられます。



本助成の特徴の一つに、市民活動組織へのサポートがあります。今後に向け新たな事業の立ち上げだけではなく、運営上の悩みや疑問などもご相談をお受けいたします。お気軽に事務局までお問い合わせください。皆様のチャレンジを応援させていただきます。

今回も多数応募いただき誠にありがとうございました。

どたばた子育て応援隊（横浜市金沢区）
代表 中村 洋子
助成金額 400,000円

★助成した事業・活動

障がいがある子もいない子も一緒に表現し作り上げる
劇活動名称「まんまる音楽劇」

★団体紹介

設立年月

2023年5月

団体の目的・活動内容

横浜市金沢区を拠点として、子どもたちの障がいのあるなしに関係なく、「誰もがお互いを認め合える」社会＝共生社会づくりを目指し活動しています。

団体情報

どたばた子育て応援隊E-Mail dotabata2023@gmail.com

まんまる音楽劇HP <https://dotabata.crayonsite.info>

どたばた子育て応援隊facebook

<https://www.facebook.com/dotabata2023>

どたばた子育て応援隊Instagram

<https://www.instagram.com/dotabata.kosodate.ouentai>



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度、私たちの活動にご理解と助成いただき、心より感謝申し上げます。私たちは、障がいや特性のあるお子さんを持つ母親と、それを支援している人たちが立ち上げた団体です。長年、地域で子育て支援や、障がい児とその家族の支援をしている中で感じてきた、保護者の不安や孤独を少しでも軽減するために、今までの言葉だけの支援ではなく、実際に親子で「体感」する経験が必要ではないか・・・という思いで、この音楽劇を企画することにしました。公募で集まった5歳～15歳の子どもたちは、年齢・特性も様々ではありますが、練習を重ねるごとにお互いを自然と理解し、認め合う姿がうまれていることを感じています。そしてそれは、活動を支援して下さる地域の方々、そして親御さんの支えがあつてのことです。2024年9月1日の第1回公演を成功させるために、たくさんの方々のお力を借りながら、メンバー一同頑張っております。これからも、応援のほどよろしくお願い致します。



障がいがあってもなくても、みんなで作る音楽劇♪

特定非営利活動法人 居場所 そら
(横浜市保土ヶ谷区) 理事長 水信 理恵
助成金額 110,000円

★助成した事業・活動

放課後の居場所「そらカフェ」

★団体紹介

設立年月

2022年4月

団体の目的・活動内容

未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えるために、地域、学校と連携して誰もが安心して過ごせる居場所や学びの場をつくり、子どもや青少年及びその保護者を支援し、人と人とのつながりを大切にした地域環境、社会の発展に寄与することを目的に活動しています。

団体情報

活動場所: 横浜市保土ヶ谷区

Mail: info@ibasho-sora.org

URL: <https://ibasho-sora.themedia.jp/>



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、助成をいただき心より感謝申し上げます。中学生の居場所を作りたいとはじまった「そらカフェ」学校内の1室で、毎週水曜日に開催しています。そらカフェにはボードゲームや漫画などがあり、みな思い思いにリラックスして過ごす様子がみられます。中学生になると放課後友だちと過ごす時間を作るのは難しいようで、友だちと過ごすことができる週1回の「そらカフェ」を楽しみにしてくれる子がたくさんいます。これからも放課後の居場所として続けていきたいと思えます。



一般社団法人 ヨコハマ・インクルボッチャ・ラボ
 (横浜市栄区) 代表理事 佐塚 丈彦
 助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

「楽しむボッチャ普及事業」さらなる発展プロジェクト

★団体紹介

設立年月
 2021年10月



団体の目的・活動内容

活動内容: ボッチャ普及事業
 主な活動歴: 小中学校、地域自治会、高齢者施設でのボッチャ体験講習会の講師、イベントでのボッチャ体験ブース担当。

団体情報

住所: 横浜市栄区上郷町262-32-1-514
 TEL: 080-5523-7468
 Mail: info@incluboccia-lab.com
 URL: https://incluboccia-lab.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

誰でも一緒に楽しめるボッチャが、地域の中で人と人をつなぐツールとして普及浸透してきていることを実感している。競技ではなく、コミュニケーションツールとして、参加者の状態に合わせた遊び方を紹介しさらに充実した普及事業を展開します。3年間のあたたかい助成に感謝しています。



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度もみなさまの想いのこもった助成をいただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで”こどもが安心して育ち合う場”の提供を行うことができました。一方で日々活動する中でどこにエネルギーを注ぐか悪戦苦闘した一年目でした。年々深刻化していく、こどもたちの現状に対してアプローチしていくためにはボランティアさん募集や各種ミーティング、地域を含む多様な連携、活動を継続するための根気のいる事務作業など様々な取り組みが必要であることを身を持って感じました。市民活動が困難になっていく背景を目の当たりにしている中、ご支援いただけることに心より感謝申し上げます。安定の土台があることで、活動の発展がある。これからも、”おばあちゃんちの縁側”のような安心の拠点から、様々な背景を持つ子どもたちや家庭、地域の一人ひとりが生かされる循環を育み拓めていけるよう今後とも尽力して参りたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。



一般社団法人 リトルハブホーム (茅ヶ崎市)
 代表理事 岩崎 愛
 助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

おむすび寺子屋

★団体紹介

設立年月
 2022年4月



団体の目的・活動内容

子どもシェルター、児童養護施設、教職での勤務経験を持つスタッフが、児童虐待をはじめ子どもが育つ環境に関する課題が深刻化していることを痛感。コロナ禍で社会的孤立がさらに深まる中で、貧困、虐待など様々な背景を持つ子どもや家庭が安心して育ち合う場を実現することを目的とし”小さな拠点(ハブ)が繋がれば、まち全体が一つのホームに”をコンセプトに、茅ヶ崎から居場所を展開する

団体情報

住所: 〒253-0054 茅ヶ崎市東海岸南2-1-15
 Mail: littlehubhome@gmail.com
 URL: https://bit.ly/3xKBvxm

赤ちゃん食堂「ままな」（寒川町）
代表 菊地 愛美
助成金額 400,000円

★助成した事業・活動

赤ちゃん食堂「ままな」



★団体紹介

設立年月

2022年4月

団体の目的・活動内容

産前産後及び離乳食期の子を育てる家庭の駆け込み寺として、地域コミュニティと連携しながら、育児の孤立を防ぐ居場所づくり・困窮世帯への支援を行い、赤ちゃんが健やかに成長し、子育てしやすい環境づくりに寄与することを目的としています。

団体情報

住所：高座郡寒川町倉見599-2(助産院mamana.house内)

TEL： 0467-53-9301

Mail： mamana_house-welcome@yahoo.co.jp

URL： <https://www.mamana-house.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、当団体の活動に助成をいただき0～2歳児が使用する離乳食用食器や託児に必要なベビー用品の確保・周知活動を行うことができ、心より感謝しております。子育て真っ最中の私達が、実際に産後に欲しかった居場所を形にした赤ちゃん食堂。離乳食を無料で提供し、助産師や保育士の資格を持つスタッフらが託児をしながら母親たちの育児の悩みや不安を軽減するよう取り組んでいます。さらに、昨今の物価高の影響で、「オムツ、ミルクが1週間先までもたない。無理心中を考えたけど、すぎる思いで電話した。」と生活がひっ迫した県内に住む母親などからSOSを受ける機会が増えてきました。そこで、生活必需品の無償配送を開始し、乳児の貧困という課題にも取り組み始めました。大切な命を明日へつなぎ、誰もが孤立することなく子育てできる環境をつくるべく、支援体制の強化と専門機関との連携を急ピッチで進めております。今後とも応援宜しくお願い致します。



特定非営利活動法人 ふじぼけ（藤沢市）
代表理事 小澤 由加里
助成金額 165,000円

★助成した事業・活動

子どもを真ん中につなげる地域の居場所

★団体紹介

設立年月

2017年1月

団体の目的・活動内容

(目的) 子どもを真ん中に多世代の市民が参加し、交流することで、子どもの健全育成に寄与する地域コミュニティを創造する。

(活動) 子どもが自由に過ごせる(何もしても・しなくてもいい)、子どもの居場所(週1回・放課後1時半～5時/5時～7時は中学生自習室)を提供する。2022年4月より「まちづくりハウスみろくじ」

団体情報

住所：〒251-0016 藤沢市弥勒寺1-22-21

活動拠点：まちづくりハウスみろくじ

TEL： 090-6923-9846(小澤)

Mail： mail@fujipoke.org

URL： <https://www.fujipoke.org>

Facebook： <https://www.facebook.com/fujipoke.org>



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

3度目の助成をいただき、自立にむけて襟を正さなくてはと思っています。2023年春頃より、近隣のURに移住してきた中国人世帯とつながりをもった縁で、中国語を母語とする児童やその保護者が「ふじぼけ」に来るようになりました。当初はカタコトの日本語とGoogle翻訳で大人同士のコミュニケーションはあたふたしましたが、子どもたちは絵やマンガを描いたり、漢字の名前を教えたりと堂々としたもので子どもの包摂力を思い知りました。今では日本語にふれる機会をもちたい中国人の溜まり場ともなり、子どもとトランプ遊びをしたり期せずして多文化共生の場になっています。拠点をもてたことで「ふじぼけごはん(食事会)」を隔月で開催し、子どもと調理することが恒例になりました。コロナ禍が明け、五感をつかった子どもの体験の場を増やしていきたいと思えます。



ザリガニ食堂の会（平塚市）
会長 佐野 基久
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂から、様々な地域の人たちの居場所づくり

★団体紹介

設立年月
2022年6月



団体の目的・活動内容

生活に困窮する家庭の子ども達に栄養価の高い食事を安価提供する場をつくり、その中で、子ども達の豊かで充実した生活と社会づくりに寄与することを目的として、子ども食堂を運営。活動を通して地域コミュニティのネットワークを構築し、子どもの養育環境や高齢者の社会的孤立など身近な地域社会にある課題について、解決に向けた働きかけの一端を担うことが出来ればと活動しています。

団体情報

住所：〒254-0824 平塚市花水台32-9 ニジガハマテラス
Mail: nijigahamaterrace@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は助成いただき、ありがとうございました。一同、心より感謝申し上げます。地域の支援活動を行う上で、最初のハードルの一つが、ベースである「場所」を見つけ出すことであると認識しています。各支援団体は、支援内容に応じて常設の場所を探しますが、確保の困難さや、賃料負担などで疲弊し、継続しがたく行き詰っていることも聞いています。私たちは幸運にも活動を行う「場所」がありました。私たちの持つこの「場所」を様々な地域の支援団体へ貸し出すことで、地域支援活動の活性化モデルにチャレンジしたい。支援団体を支援する団体になりたいと考えました。この「場所」では、かつて、地域の児童を集め、書道、そろばん等の習い事の場でした。学習支援、地域子育て支援、高齢者サロンなどの居場所づくりに取り組む様々な支援団体に、この「場所」を活用していただきたいと思います。



一般社団法人 あそびの庭（二宮町）
代表理事 渡辺 優子
助成金額 240,000円

★助成した事業・活動

「はらっぱベース」～子どもまん中の居場所づくりと命を守るまちづくり

★団体紹介

設立年月
2020年10月(法人化は2021年2月)



団体の目的・活動内容

目的:しあわせな暮らしを、生きているだけで、しあわせだなあと思える社会を、自然×暮らし×人とのつながり×あそび心でつくっていききたいと思い、様々な活動をしています。

団体情報

住所： 中郡二宮町
Mail: asobinoniwa2020@gmail.com
URL: <https://asobino-niwa.studio.site/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2年目の助成を受けて、昨年度も多くの子どもたちと過ごしました。多い時には10人前後の子どもたちが朝から集まり、子ども同士の関係性も広がりました。ここでの繋がりをきっかけに、学校にちょっと顔を出す子が出たり、学校内とは違う友人関係をつくる姿も見られました。また関わるスタッフが増えたり、視察や勉強会を増やしたりと、スタッフにとっても学びの多い1年ともなりました。1人からでも参加できる「空飛ぶ教室」や、大人たちがじっくり安心して心の内を吐き出せる「大人のおはなし会」を新たにスタートさせ、認知を広げることもできました。3年目の今年度も、誰でもどうぞで場所を開き、あたたかなまなざしを丁寧に発信し続けたいと思っています。この町で暮らすこと、子育てをすることをあたたかく支え合い、地域の中で子どもたちが安心して生きることができる、そんな社会になっていくように、できることは一つずつ、多くの人に助けてもらいながら続けていきたいです。



ニコニコにじの会（小田原市）
代表 香川 千代美
助成金額 307,000円

★助成した事業・活動

「キッズコーディネーション」の講師派遣事業、HP制作

★団体紹介

設立年月

2022年12月

団体の目的・活動内容

活動内容

- ・発達の気になる子を育てている「親の会」や勉強会
- ・支援が必要な子もそうでない子も一緒に活動してインクルーシブな社会を目指す活動「スポーツを楽しむ会」
- ・支援が必要な子もそうでない子も、いろいろな人と触れ合うことで、世界が広がり、ありのままの自分で居られる場所創り「フリースペース」



団体情報

住所: 小田原市

Mail: nikoniji25@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

①ホームページを作成することで、認知度が高まり、必要とする人に、この会の事を知っていただき、参加してもらえる機会が増えるのではないかと期待しています。

②昨年、「スポーツの会」では、公益財団法人「横浜YMCA」さんのご協力を頂き、体操の専門の講師の方を招き、年3回実施することができました。今回、助成を受けることで、その回数を増やし、ゆくゆくは、地域のスポーツ団体の方が指導できるようにしていき、定期的に、そして、開催頻度をあげ、子ども達の健全発達を促す機会や場所にしていきたいと思っています。



NPO法人 ぴあっと（相模原市緑区）
代表理事 五十嵐 舞子
助成金額 250,000円

★助成した事業・活動

相模原×こどもの発達情報サイト「みかた」の浸透と内容拡充

★団体紹介

設立年月

2023年4月

団体の目的・活動内容

“こどもの発達のみかたをふやす”をモットーに、発達ゆっくりさんや発達特性のある子が、地域の人とのつながりの中で、自分らしく安心安全な生活を送ることができる社会の実現を目指しています。

団体情報

住所: 相模原市緑区

TEL: 042-816-3050

Mail: info@npo-piatto.jp

URL: <https://lit.link/piatto>



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ぴあっと発達支援情報サイト『みかた』の運営費として2年目の助成をいただき、誠にありがとうございます。発達障害や知的障害のあるお子さんや、周りのご家族、支援者さんをつなぐ活動をスタートして1年が経過しました。ご家族から子育てのヒアリングを行ったり、発達支援の講座を開催したりしてきました。そんな対面で行う活動と並行して行ってきたのがWebでの情報発信である『みかた』です。子どもが小さいと外出するのが難しいことも多いため、必要な情報を場所に関係なく取得できること、そして地域内で同じような子育て体験をしている人の存在を知ってもらうことで孤独を防ぎたいという想いで運営しています。1年目は記事15件、子育て4コマ14件、イベント情報36件の更新を行いました。徐々に検索でサイトを見つけてくれる方も増えてきました。2年目は内容の更なる充実とPR活動に力を入れ、必要としている人に情報が届くような活動をおこなっていきます。



one by ONE (横浜市金沢区)

共同代表 光山 瑞穂

助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

オンライン家庭教師、オンラインイベント

★団体紹介

設立年月

2018年12月



団体の目的・活動内容

入院中の子どもたちにも「気にかけてくれる人がいる」ことを感じてほしい、楽しい時間を過ごしてほしい、をコンセプトに活動している横浜市立大学の学生を中心とした団体です。小児病棟に入院している子どもたちを主な対象として、入院中のお勉強をお手伝いする「オンライン家庭教師」、また小児病棟での「イベント企画」を行っております。

団体情報

住所：横浜市金沢区

Mail: onebyone.yokohama1122@gmail.com

URL: <https://onebyone-children.jimdofree.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年度に引き続き、3年目のご支援をいただきまして誠にありがとうございます。私たちは、入院中の子どもたちに、気にかけてくれる人がいる安心感と、入院生活でも楽しい時間を届けたいとの思いで活動しております。活動は、入院中の学習支援を行うオンライン家庭教師と、きょうだい児やご家族も一緒に楽しめるようなオンラインイベントの企画の2つを行っております。今までの家庭教師では、「退院する時の自信になった」「オンライン家庭教師を楽しみに治療を頑張れた」、イベントでも「家族だけでは特別感を出すことが難しい中でとてもありがたかった」「待っている時間も親子でワクワクできた」などのお言葉をいただいております。これらの活動の継続と発展のため、賜った助成を活用させていただき、今年度もさらに多くの入院生活を送る子どもたちに学習と精神面の両方のサポートができるよう、メンバー一同精進してまいります。



NPO法人 ハビリテーションケア (逗子市)

代表理事 横田 昌憲

助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

わたしもできる！スパイダーではずむ体・心！！

★団体紹介

設立年月

2023年6月

団体の目的・活動内容

重症心身障害児及び医療的ケア児を対象とした放課後デイサービス・児童発達支援を行う。また、保健・医療又は福祉の普及啓発及びネットワーク作り構築事業も同時に行っています。地域の中で共に生き時間を共にすることで私たちを知ってほしいと考えています。



団体情報

多機能型事業所LEO

住所：鎌倉市城廻54-1

TEL: 0467-42-8530

URL: <https://www.habilitationcare.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成頂き本当にありがとうございます。今回の助成申請において、面談など通じ客観的視点にてご意見を頂けたこと大変感謝しています。申請を通じ改めて自分達の事業の方向性を再認識することも出来ました。熱い気持ちであふれています、ありがとうございます。多機能型事業所LEOを開所し半年が経ち沢山のの方々から応援いただきました。日々、ご利用者様や職員のきらりとした瞬間に出会います。誰もが発達の途上であり、「やってみたい」を叶える場であるよう、ご本人を中心としてご家族・多職種でチームとなり一人ひとりに応じた支援を行っております。楽しいを共有する仲間とともに、アットホームで自然豊かな環境にて活動を継続的に行っていきます。



テラコヤスペース（相模原市南区）
代表 福本 美穂
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

テラコヤスペースフリースクール事業

★団体紹介

設立年月
2023年12月



団体の目的・活動内容

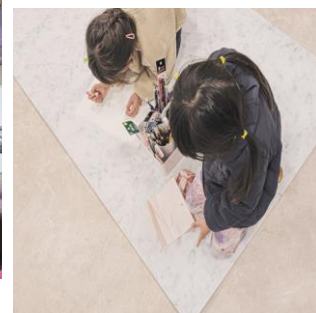
アート活動を主体としたサードプレイスとしてのフリースクール。地域の方に開かれた好きで繋がるコミュニティスペース

団体情報

住所： 相模原市南区相武台団地2-3-5
TEL： 080-5405-2165
Mail： teracoyart@gmail.co

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、基金の助成ありがとうございます。相武台団地商店街の2階のスペースを利用して不登校の子どもたちの居場所を開始してみたものの、これまでの活動実績が無いので、必要な方に情報が伝わらない。利用されたい方に出会えないという状況です。今回スタートアップに際して、映画上映とそれにまつわる広報・宣伝費に充てることができます。より多くの方に、どうやったら知っていただくか？ いただいた機会をより効果的に開催できるよう、知恵を使っていきたいと思います。そして活動実績を作って、次の活動へと展開していきたいと思います。



まちライブラリー@池子（逗子市）
代表 谷崎貴恵
助成金額 250,000円

★助成した事業・活動

空き家を活用した、子どもと大人の居場所づくり・私設図書室事業「池子やまとしよつ」

★団体紹介

設立年月
2022年5月



団体の目的・活動内容

・公共図書館へのアクセスが遠い、逗子市池子地区内で、子どもたちが歩いていける場所に、気軽に本に触れることができ、貸し出しができる、私設図書室を開設し、運営する。
・お話し会やイベントを開催し、子どもたちに本の魅力を伝える。
・地域交流の場作り、サードプレイスの提供。

団体情報

住所： 逗子市池子
Mail： machilibrary.ikego@gmail.com
インスタグラム： @MACHI.LIBRARY_AT.IKEGO

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、私たちの活動へのご理解いただき、助成くださり心から感謝申し上げます。私たちは、逗子市池子地域で、空き家を借りて私設図書室を開設・運営しています。市内の公共図書館が遠いことから、「子どもたちが歩いていける場所に、本に触れ、貸し出しのできる場所が欲しい！」という保護者の思いからこの活動は生まれ、池子住民協と地域の子育て世代を中心としたボランティア（まちライブラリー@池子）で活動しています。現在さまざまなメディアがあり、スマホやゲーム機器など便利で楽しいものがあふれている暮らしの中で、「紙の本に触れる」「文字を読む」「対面でお話を聞く」「みんなでお話を共有する」など、子ども時代に培ってほしい体験や学びを、子どもたちに伝えていきたいと思います。キャッチコピー「本と人にあえるばしょ 池子やまとしよつ」として、本を通じて人との交流が生まれる、地域の方に愛される場所となるよう、努めてまいります。



わわわのわ（茅ヶ崎市）
代表 菊地 萌
助成金額 170,000円

★助成した事業・活動

里山地域に「みんなの居場所」や「みんなの学び場」をつくる事業

★団体紹介

設立年月

2023年10月

団体の目的・活動内容

すべての人たちが安心して、遊び・学び・暮らすための「地域社会」と「人のつながり」をつくることを目的として、茅ヶ崎市北部の里山地域を拠点に遊び場や学び場、子育てや暮らしの拠点になる居場所づくりの活動をしています。

団体情報

住所：茅ヶ崎市

Mail: wawawanowakids@gmail.com

Instagram: @wawawanowalabo（わわわのわ）

@wawawahiroba（わわわひろば）

Facebook:

<https://www.facebook.com/wawawanowalabo>（わわわのわ）

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61556078825736>

（わわわひろば）



助成を受けて…の思い・メッセージ

乳児から高校生までの子育て中の母ちゃんと子どもたちで活動しています。それぞれのコロナ禍、第一子の出産・不登校・里山での遊び場不足など暮らしの中で感じた「あったらいいな」が私たちが共に活動するきっかけでした。子育てしながら活動していると、「大変じゃない？」と言われることがあります。でも、私たちのやっていることは、大人も子どもも一緒に遊び・学び・暮らすこと。子どもたちを見守り合う。日々の暮らしのおしゃべり。そんな他愛もない日常の暮らしから生まれたお互いさまの活動です。そして、その輪を広げる気持ちで活動しています。一緒に大人も子どもも楽しく過ごすなかで、自然と「お互いさま」の気持ちが生まれたり、それがつながってこの活動の輪が広がって続いていくのだと思っています。まずは気楽に遊びに来てもらえたら嬉しいです。この度は私たちの活動にご理解とご支援を頂きありがとうございました。色々な課題もみえてきた今年度も一歩一歩進んでいきます。応援よろしくお祈りします。



居場所づくり 濱なかま（横浜市港北区）
代表 岩田 聡子
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

新しい拠点に地域の「ちよいボラ」を紹介する。（ちよいボラ紹介センター）を作る

★団体紹介

設立年月

2018年10月

団体の目的・活動内容

地域の人々が地域で暮らす人の最期の時まで当たり前によりそえるまちづくりとして「地域ホスピス」の設立を目指しています。現在はまずは豊かな日常を過ごせる町をめざして横浜市港北区鳥山町に拠点を整備し、おしゃべりと相談ができる町カフェを運営しています

団体情報

住所：〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1013
町カフェ城郷ノスタルジア内

TEL: 045-900-8565

Mail: kohokuhamanakama@gmail.com

URL: <https://www.facebook.com/hamanakama>



助成を受けて…の思い・メッセージ

令和6年1月に念願の拠点「町カフェ城郷ノスタルジア」をオープンさせました。団体の前身から数えると約10年、地域のさまざまな活動に携わり、課題が課題のまま解決に至らないことをたくさん見てきました。そのなかでも「拠点があれば改善できること」はたくさんあると実感しており、私たちの拠点はそのため動き出しました。希薄になっていく地域のつながりを取り戻すことは、さまざまな地域課題を解決する土台になっていきます。〈町カフェ〉はゆるやかに人とつながり、町への愛着を生む場所。今年度は、〈町カフェ〉に関わる人づくり（ちよいボラ）によってゆるやかなつながりを紡いでいきます。この活動に留まらず、〈町カフェ〉が私たちの地域における持続可能な社会資源となるように、いただいた助成金を大切に活用したいと思っています。この度はご支援、まことにありがとうございました。



一般社団法人 かけはし（横浜市泉区）
代表理事 廣瀬 貴樹
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

コミュニティカフェにおける若者の就労支援と、子どもの第3の居場所づくり

★団体紹介

設立年月

2021年4月7日

団体の目的・活動内容

生きづらさを抱える子どもたちにとことん寄り添える、学校以外の居場所が必要だと考え、夫婦で小学校教員を2021年3月に退職し、2021年4月に居場所事業を開始。週4回、公共施設をお借りして不登校の子どもたちが安心して過ごし学ぶことができる「まなべる居場所づくり事業」を行う。また相談事業、わくわく農園事業、地域の居場所支援事業、こどもキャリア大学事業、コミュニティカフェでの若者の居場所、学習支援等を行う。

団体情報

住所：〒245-0015 横浜市泉区中田西2丁目8-4

TEL：090-2252-1080

URL：<https://kakehashi.link>



助成をうけて…の思い・メッセージ

団体(法人)を立ち上げてから怒涛の3年が過ぎました。スタートアップの時期からこれまで3年目に至るまで継続して助成をしていただけること、本当に感謝しかありません。創設期の3年間は、何の基盤もない中での運営で、苦難と挑戦の連続でしたが、信念や情熱を持ち続け、何とか歩みを進めていくことができました。継続して支援をいただくことで、活動が安定したことで地域の方からの信頼も厚くなっています。不登校を経験した若者たちが、コミュニティカフェの中で人と関わることを通して自信を取り戻し、様々なことに挑戦しようとする姿がありました。また学習支援やこども食堂など活動も広がってきました。これからも地域の中で子どもや若者が自己肯定感を高めていき、自分の可能性を切り拓いていく力を育てるように、また持続可能な運営ができるように全力で取り組む決意です。



寄付文化の拡がりに皆様のご協力を ～市民基金を支える寄付方法～

「賛助会員」として応援

公益財団法人かながわ生き活き市民基金は、助成事業、研修・セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業の4つの事業を行っています。当財団を継続的に支援してくださる「賛助会員」を募集しています。

【年会費】

- ◆個人会員（1口1,000円）1口以上
- ◆法人・団体会員（1口10,000円）1口以上

【特典】

- ◆各種報告書の送付（年次報告書、助成団体報告書「福祉たすけあい基金Book」、フォーラム報告書）
- ◆当財団が企画開催するイベントへのご招待等

【お申込み方法】

- ◆ゆうちょ銀行から振込
記号番号 00250-0-72370
ザイ) カナガワイキキシミンキキン
- ◆ゆうちょ銀行以外から振り込み
ゆうちょ銀行 店名：〇二九店
口座番号：0072370
ザイ) カナガワイキキシミンキキン
※通信欄に「賛助会費」とご記入ください。

「福祉たすけあい基金」への寄付で応援

◆基金の用途

皆様より戴いたご寄付は、「福祉たすけあい基金」の原資として蓄積し、神奈川県内で福祉・たすけあいの市民活動や事業を行う団体・市民グループへの助成金としてお届けいたします。なお、寄付金の35%は助成等を行うための法人運営費用として大切に使用させていただきます。

◆寄付金額

1年間1口1,200円となります。1口単位でご寄付可能です。

◆お申し込み方法

寄付の方法は、「口座引落(継続)」「口座振込(単年)」(左記、賛助会員と同じ口座)「現金書留」よりご希望の方法をご選択ください。

詳しくはホームページをご参照ください。

税制優遇について

当財団は公益法人です。公益法人への寄付は、税制上の優遇措置が受けられます

個人の方は所得税、住民税が控除の対象となります。

法人の方は1年間の寄付の総額の一定額を、損金に算入することができます。

詳しくは、お近くの税務署等にお問い合わせください。



発行：公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6F

Tel : 045-620-9044 Fax : 045-620-9045

Mail : info@lively-citizens-fund.org

URL : <https://www.lively-fund.sakura.ne.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/livelycitizensfund>

発行日：2024年6月15日